

灰

六年

画数 6
筆順 一 厂 尸 灰
オン カイ
クン はい

成り立ち



「手」の形を表した「ナ（左1年25）」と、「火」とを組み合わせて作った字です。

「火の上に手をのせている形」を表した字です。それは、火がすでに消えてしまつて、「はい」になっていることを表しています。燃えている火の上に手をのせることはできませんからね。

今の字形は「灰」で、「厂（崖の形）」になっていることに注意して下さい。

拡

六年

画数 8
筆順 一 扌 艹 扩 扩 扩
オン カク

成り立ち



「広げる」という意味の「広」と、「扌」とを組み合わせて作った字です。

「手を使って物を「広げる」」ことを表した字です。

「広」が「広い」という意味を表した字であるのに対して、「拡」は「広げる」「広める」という意味を表した字です。

「わが国では、「広」を、「広い」とも「広げる」とも使うことができるけれども、中国では言葉の性質上、そうすることができない。それで、「広い」は「広」で表し、「広げる」は、「拡」で表したものである。」

使い方

- ▽夏休みに鹿児島へ行きました。桜島が噴火した数日後でしたから、町は火山灰がたくさん積もっていました。畑に灰をまいているので、不思議に思つてたずねましたら、灰は肥料になるのだと教えてくれました。
- ▽石灰岩は、水の中の動物の骨などが水底に積もつて、長い間かかつてできた堆積岩です。

熟語例

- ▽灰色（灰のような色。黒と白との中間色）
- ▽灰白色（灰色がかつた白色。例）大脳は灰白色をした物質です。
- ▽火山灰（火山が噴火した時に噴き出す灰）
- ▽灰燼（燼は燃えさし、燃え切らずに残つたもの。灰や燃えさし。例）たばこのすいがらの不始末で、歴史のある家が灰燼に帰してしまいました。
- ▽石灰（「石灰」とも言います。生石灰と消石灰とあります。セメント、肥料、消毒剤などに使われます。石灰岩をくだいて粉にしたものです。）

使い方

- ▽ぼくは誕生日に顕微鏡を買ってもらいました。この顕微鏡で見ると、物が百倍に拡大して見えるので、とても愉快です。
- ▽近くの幼稚園で運動会をやっているらしく、拡声器を使って号令をかけている音や、歓声が聞こえます。

熟語例

- ▽拡大（広げて大きくすること。）
- ▽拡声器（声を大きくして、遠くまで届くようにする器械）
- ▽拡張（大きく広げること。「施設を拡張して、収容能力を高める」などというふうにつかいます。）
- ▽拡散（広がって散らばること。とくに、一つの液体や気体に、他の液体や気体がそがれた時、二つのものがしだいに混じり合つていく現象を言います。「青インクを水の中に落とすと、インクは拡散して、薄青い水ができる」などというふうにつかいます。）
- ▽拡充（広げて充実させること。「組織の拡充を図るため、新たな会員を募集する」などというふうにつかいます。）